

# 敦賀美方消防組合のあゆみ

昭和45年11月1日 敦賀美方消防組合が発足。

発足当初の消防機関

○職員定数68名（消防吏員67名、事務吏員1名）

○消防本部及び敦賀消防署（本署）

所在地 敦賀市桜町7の1

人 員 森川静消防長（兼消防署長）以下53名

○敦賀消防署美浜分署

所在地 三方郡美浜町郷市13の8

人 員 分署長以下7名

○敦賀消防署三方分署

所在地 三方郡三方町三方32号大門18の1

人 員 分署長以下7名

○敦賀美方消防組合敦賀消防団 団員定数320名

人 員 岸本吉助団長以下320名

○敦賀美方消防組合美浜消防団 団員定数256名

人 員 丸安三郎団長以下256名

○敦賀美方消防組合三方消防団 団員定数260名

人 員 瀬尾圭二団長以下260名

消防ポンプ自動車等

消防署 16台 消防団 91台

（小型動力ポンプ含む）

昭和45年11月9日 消防組合発足後、初の組合議会を開催。

議員構成 敦賀市9名、美浜町4名、三方町3名

11月9日 (社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（A-1級水槽容量1,600ℓ）1台の寄贈を受け本署に配置。

11月10日 消防組合発足を記念して敦賀市内、美浜、三方両町内の主要道路でスノーケル車、化学車、救急車等によるパレードを実施。

昭和46年1月6日 消防組合管内の第1回無火災祈願と出初식을旧敦賀市役所裏で実施。

4月1日 職員定数80名（消防吏員79名、事務吏員1名）に改め、職員13名を増員。

4月1日 消防本部の組織を改め総務課、警防課、予防課の3課を置く。（課制に改革）

4月1日 敦賀美方消防協会設立。

6月5日 サイレン、赤色灯、10型消火器（2基）を装備した赤バイ（350cc）を美浜、三方各分署に配置。

9月23日 化学消防ポンプ自動車（A-2級、水槽容量1,300ℓ、薬剤容量300ℓ）1台を三方分署に配置。

昭和47年1月7日 大規模な特殊災害時における集団事故に対処するため「集団事故の搬出救急医療計画」を樹立。

2月28日 消防ポンプ自動車（A-2級、ジープ型）1台を三方分署に配置。

- 昭和47年 4月1日 職員定数を90名（消防吏員88名、事務吏員2名）に改め、職員12名を増員。
- 4月1日 団員定数を836名以内（敦賀消防団320名以内、美浜消防団256名以内、三方消防団260名以内）に改める。
- 5月8日 「船舶火災の消火等に関する業務協定」を敦賀海上保安部と締結。
- 11月6日 北陸本線の北陸トンネル（延長13.87km）内で大阪発青森行急行「きたぐに」が火災を起し死者30名、負傷者714名を数える未曾有の大惨事が発生。
- 11月24日 福井県知事より消防本部に対し北陸トンネル列車火災現場活動功勞により竿頭綬が授与される。
- 12月25日 自治省消防庁長官より消防本部に対し同上現場活動功勞により表彰状が授与される。
- 昭和48年 1月6日 全国消防長会長より消防本部に対し同上現場活動功勞により表彰状が授与される。
- 2月7日 消防ポンプ自動車（A-2級、ジープ型）1台を美浜分署に配置。
- 3月24日 福井県知事より敦賀、美浜、三方各消防団に対し昭和47年7月11日における集中豪雨に際しての水防功勞により竿頭綬が授与される。
- 4月1日 職員定数を95名（消防吏員92名、事務吏員3名）に改め、職員6名を増員。
- 4月4日 北陸トンネル列車火災を教訓として列車火災の救助・救急訓練を消防・国鉄合同で実施。
- 8月31日 新消防庁舎（消防本部、敦賀消防署（本署））の起工式を建設予定地で挙行。
- 9月1日 内閣総理大臣より消防本部に対し北陸トンネル列車火災の現場活動功勞により表彰状が授与される。
- 昭和49年 3月12日 (社)日本損害保険協会より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け本署に配置。
- 4月1日 職員定数100名（消防吏員97名、事務吏員3名）に改め、職員5名を増員。
- 4月1日 消防本部と消防署の組織を分離独立させ消防本部に庶務課、消防課、予防課の3課を置く。
- 4月11日 防火思想の普及高揚を図るため、第1回防火ポスターの募集を管内小・中学校を対象に実施。
- 5月2日 敦賀美方危険物安全協会設立。
- 7月20日 第23回福井県消防操法大会において、敦賀消防団第7分団が自動車ポンプの部で3位に入賞。
- 11月22日 敦賀市桜町の消防本部、敦賀消防署（本署）の旧合同庁舎の閉庁式を挙行。
- 11月22日 新庁舎の完成に伴い指令室による指令業務を開始。
- 11月25日 新庁舎の完成移転に伴い、開庁式を挙行。
- 11月26日 庁舎移転に伴う警備体制の万全を期するため敦賀市桜町の旧庁舎に敦賀消防署港出張所を開設。
- 11月30日 新庁舎竣功式を同庁舎（敦賀市松島第72号字下石橋7番1号第13番地）で挙行。
- 12月23日 (社)日本損害保険協会より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け三方分署に配置。
- 昭和50年 1月31日 敦賀市、美浜、三方両町の119番専用電話を集中管理し、管内一斉指令業務を開始。
- 2月28日 消防ポンプ自動車（A-2級、ジープ型）1台を本署に配置。
- 4月1日 職員定数を105名（消防吏員102名、事務吏員3名）に改め、職員6名を増員。
- 4月1日 敦賀市防火組合が自衛消防隊育成事業として消防器具購入の助成を開始。

- 昭和50年9月1日 中高層建物火災、交通災害等複雑化する災害に対処するため救助分隊（消防分隊兼務）を本署に新設。
- 昭和51年3月9日 梯子付消防ポンプ自動車（32m級）1台を本署に配置。
- 3月31日 管内のタクシー業者と各種災害の早期発見、被害の軽減を図るため「災害情報の提供に関する覚書」を交換。
- 7月10日 第25回福井県消防操法大会において、三方消防団第1分団が小型動力ポンプの部で第3位に入賞。
- 11月8日 救急自動車（2B型）1台を美浜分署に配置。
- 昭和52年3月9日 屈折梯子付消防ポンプ自動車（15m級）1台を本署に配置。
- 3月15日 敦賀消防署気比分遣所（敦賀市曙町）の完成に伴い港出張所を閉鎖し同庁舎へ移転。消防分隊1隊を配置。
- 3月18日 敦賀消防署気比分遣所の開所式を挙げる。
- 3月23日 消防ポンプ自動車（A-2級、ジープ型）1台を本署へ配置。
- 12月1日 高速自動車国道敦賀IC～武生IC間の開通に対処するため敦賀消防署気比分遣所に救急分隊1隊を配置。
- 12月5日 敦賀IC～武生IC間の北陸自動車道開通に伴い対南越消防組合管理者と消防相互応援協定を締結。
- 12月6日 12月5日締結の相互応援協定に基づき必要な細目について対南越消防組合消防長と覚書を交換。
- 12月10日 管内の原子力発電所での防ぎょ活動等に際し消防職員の放射性物質による障害を防止するため、消防活動要綱を制定。
- 12月28日 (社)日本自動車工業会より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け気比分遣所に配置。
- 昭和53年4月1日 職員定数を109名に改め職員5名を増員。
- 5月1日 消防本部庁舎の住居表示が「敦賀市中央町2丁目1番2号」に変更される。
- 12月6日 原子力発電所消防活動要綱制定に基づく現地警防調査を実施。
- 12月31日 消防組合発足以来最高の出火件数62件記録。
- 昭和54年3月10日 化学消防ポンプ自動車（A-2級、水槽容量1,300ℓ、薬剤容量500ℓ）及び消防ポンプ自動車（A-2級、ジープ型）各1台を本署に配置。
- 昭和55年3月19日 山之内製薬(株)より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け本署に配置。
- 4月3日 敦賀IC～米原IC間の北陸自動車道（名神高速直結）4月7日に開通することに伴い、対伊香郡消防組合管理者と消防相互応援協定を締結。
- 4月4日 4月3日締結の相互応援協定に基づき必要な細目について対伊香郡消防組合消防長と覚書を交換。
- 8月25日 (社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（A-1級、水槽容量1,600ℓ）1台の寄贈を受け本署に配置。
- 11月1日 敦賀美方消防組合発足10周年記念式典を敦賀市勤労福祉センターにおいて挙げる。
- 昭和56年1月15日 豪雪に見舞われ敦賀市においては、明治30年敦賀測候所開設以来最高の積雪198cmを記録。
- 4月1日 消防本部の組織を改め、従来の消防課を廃止し、職員課及び警防課に分割。

- 昭和56年 9月29日 指令車（救助資器材積載用）1台を本署に配置。  
10月31日 (財)自治総合センターより敦賀市防火組合に対し映写機及びビデオ装置一式の寄贈を受ける。  
11月1日 福井県防災無線が運用開始。  
11月10日 (財)日本防火協会より敦賀市防火組合に対し防火広報車（9人乗り、拡声装置、録音再生装置、映写装置及びスクリーン、投光ランプ付）1台の寄贈を受ける。
- 昭和57年 2月25日 (社)日本損害保険協会より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け三方分署に配置。  
4月1日 団員定数を720名（敦賀消防団270名、美浜消防団225名、三方消防団225名）に改める。  
5月1日 敦賀地区少年婦人防火推進委員会設立。  
第31回福井県消防操法大会において、三方消防団第1分団が小型ポンプの部で第2位に入賞。  
8月22日 婦人防火クラブ員を対象に敦賀市中央公民館において第1回婦人消防研修会を開催。
- 昭和58年 2月3日 消防ポンプ自動車（A-2級、ジープ型）1台を気比分遣所に配置。  
10月6日 初めての永年勤続消防団員（勤続30年以上）配偶者等に対する感謝状贈呈式を消防本部において挙行。  
10月23日 幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブ、自衛消防隊等参加のもとに敦賀市民文化センターにおいて第1回自主防火大会を開催。
- 昭和59年 1月20日 救急自動車（2B型）1台を美浜分署に配置。  
3月30日 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（A-2級、水槽容量1,300ℓ、薬剤容量500ℓ）を美浜分署に配置。  
4月1日 消防本部組織に関する規則の一部を改正、各課の事務分掌を一部変更、併せて予防課の一部を署予防課と兼務する。  
4月1日 署組織規程の一部改正、庶務係を庶務課に昇格。  
10月17日 敦賀美方危険物安全協会発足10周年記念式典を市民文化センターにおいて開催。
- 昭和60年 4月1日 署庶務課に課長以下9名を兼任配置（課長、係長は事務取扱）  
12月31日 消防組合発足以来最高の救急出場件数1,952件を記録。
- 昭和61年 8月12日 (財)日本消防協会より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け、気比分遣所に配置。  
11月14日 金ヶ崎岸壁にけい留中のタンカー火災を想定し、初の航空機、巡視船艇、消防車等が参加して陸、海、空一体的な消防演習（消火、人命救助、流出油処理）を海上保安部等と合同で実施。
- 昭和62年 1月30日 敦賀消防団に県下初の4WD小型動力ポンプ付積載車を配置。  
2月2日 消防ポンプ自動車CD-I型（A-2級）1台を美浜分署に配置。  
7月25日 第36回福井県消防操法大会において、美浜消防団第2分団が小型ポンプの部で3位に入賞。  
8月2日 第25回大会記念 敦賀地区自衛消防隊操法大会開催。  
11月9日 「119番の日」特別養護老人ホーム「溪山荘」で近隣ボランティアも参加し、初の夜間消防訓練を実施。

- 昭和63年1月23日 消防ポンプ自動車CD-I型（A-2級、水槽容量900ℓ）1台を三方分署に配置。
- 3月22日 照明電源装置付救助工作車Ⅱ型1台を敦賀消防署に配置。
- 9月19日 「北陸自動車道敦賀トンネル」で多重事故を想定し、消防、警察、公団が参加して、初の夜間消防訓練を実施。
- 平成元年2月10日 日本消防協会から敦賀消防団が表彰旗を受賞。
- 3月6日 消防庁長官から美浜消防団が表彰旗を受賞。
- 3月6日 消防庁長官から三方消防団が竿頭綬を受賞。
- 8月12日 第38回福井県消防操法大会において、敦賀消防団第9分団が自動車ポンプの部で2位入賞。
- 11月24日 (財)福井県農協共催福祉事業団から4WD救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け本署に配置。
- 平成2年9月13日 消防組合発足20周年記念事業として、上級防火管理講習会を開催。
- 9月25日 社団法人「日本損害保険協会」から水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、気比分遣所に配置。
- 10月28日 消防組合発足20周年記念式典を中央公民館において挙行。
- 11月1日 消防組合発足20周年記念日。
- 11月6日 消防組合発足20周年記念事業として、郷土出身人気歌手「五木ひろし」氏を招き一日消防長を実施。
- 11月7・8日 第52回全国消防長会予防委員会が敦賀市で開催される。
- 平成3年4月1日 職員定数を115名に改め職員3名を増員。
- 6月27日 日本防火協会から防火広報車を寄贈される。
- 7月20日 第40回福井県消防操法大会において三方消防団本部分団が自動車ポンプの部で優勝。同1分団が小型ポンプの部で3位入賞。
- 8月30日 日本消防協会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け三方分署へ配置。
- 平成4年3月25日 消防緊急通信指令施設Ⅱ型完成運用を開始する。
- 4月1日 消防本部の組織を改め、庶務課、職員課を廃止し総務課を新設。
- 11月5日 人員輸送用マイクロバスを敦賀消防署に配置。
- 11月13日 初の救急救命士1名誕生。
- 12月14日 美浜分署新庁舎完成業務開始式を挙行。
- 平成5年1月19日 美浜分署新庁舎落成式を同庁舎で挙行。
- 2月2日 日本自動車工業会から救急車（2B型）1台寄贈を受け気比分遣所へ配置。
- 4月1日 職員定数を125名に改め職員10名を増員。  
敦賀消防署長を専任とし、併せて美浜、三方各分署の分署長に消防司令長を配置。
- 7月10日 第42回福井県消防操法大会において美浜消防団第2分団が小型ポンプの部で2位入賞。
- 8月18日 日本消防協会から敦賀消防団に対し、業務車両1台の寄贈を受ける。
- 11月18日 自治体消防発足45周年記念大会（東京ドーム）に参加。
- 12月31日 組合発足以来最少の出火件数（17件）、焼損面積（162㎡）、損害（12,572千円）を記録。

- 平成6年3月10日 資機材運搬車1台を敦賀消防署に配置。
- 3月17日 高規格救急自動車1台を敦賀消防署に配置。
- 5月18日 救急救命士試験に1名合格。(組合2人目)
- 11月10日 高規格救急自動車、救急救命士業務運用開始式を実施し、敦賀消防署に救急救命士2名を配置。
- 12月7日 敦賀美方危険物安全協会20周年記念式典を挙行。
- 12月31日 組合発足以来最高の焼損面積(3,601㎡)、損害額(234,208千円)を記録。
- 平成7年1月18日 兵庫県南部地震(1月17日5時46分発生)に伴い、職員(1次隊7名、2次隊  
~21日 7名)を現地(神戸市)へ応援派遣。
- 3月22日 敦賀消防署庁舎竣工式を挙行。
- 5月8日 救急救命士試験に1名合格。(組合3人目)
- 5月27日 消防庁長官より、消防本部に対し阪神・淡路大震災にかかる消防広域応援等感謝状が授与される。
- 6月1・2日 原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を敦賀市で開催。
- 6月30日 緊急消防援助隊発足式(東京)に参加。
- 7月8日 第44回福井県消防操法大会において、敦賀消防団第2分団がポンプ車操法の部で2位入賞。
- 10月1日 消防本部組織の一部改正、警防課指令係を通信指令室に独立昇格させ室長に消防司令長を配置し、勤務体制を組合発足初の三部制とするとともに、警防課に防災係を新設する。  
署組織の一部改正。警備課を消防課とし、庶務課を廃止して救急課を新設。
- 11月21日 組合緊急消防援助隊(救助隊1隊、救急隊1隊、消火隊1隊)発足式。
- 11月25日 近畿府県広域合同訓練に参加。(滋賀県彦根市)
- 11月29日 緊急消防援助隊合同訓練に参加。(東京)
- 12月8日 動力炉・核燃料開発事業団「もんじゅ建設所」の原子炉補助建屋において金属ナトリウム漏えい火災が発生。
- 12月28日 化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を敦賀消防署に配置。
- 12月31日 組合発足以来最高の救急出動件数(2,210件)を記録。
- 平成8年1月10日 日本道路公団金沢管理局長より消防本部に対し、平成7年1月に発生した北陸自動車道での多重事故にかかる消防活動への感謝状が授与される。
- 3月12日 小型動力ポンプ付水槽車(10t)1台を敦賀消防署に配置。
- 4月1日 職員定数を130名に改め、職員5名を増員。  
署救急課の勤務体制を三部制とする。
- 4月25日 救急救命士試験に1名合格。(組合4人目)
- 8月23日 日本道路公団より消防本部に対し感謝状が授与される。
- 9月1日 中部ブロック緊急消防援助隊総合訓練に参加。(静岡県)
- 10月1日 組合消防職員委員会制度発足。  
福井県防災航空事務所に職員1名を派遣。
- 12月31日 組合発足以来最高の年間救急出動件数(2,225件)を記録。

- 平成9年3月12日 滋賀県湖西地域広域市町村圏事務組合及び伊香郡消防組合と消防相互応援協定を締結。
- 3月18日 耐震性貯水槽（100m<sup>3</sup>）を敦賀市に新設整備。
- 4月1日 「敦賀美方消防組合行政改革大綱」を策定。  
署組織の一部改正、消防課に新たに第3課を新設し消防課の勤務体制を三部制とする。
- 5月8日 福井県防災ヘリコプター就航に伴い、県内の防災航空体制発足。
- 5月15日 救急救命士試験に1名合格。（組合5人目）
- 8月7日 日本消防協会から敦賀消防団に対し、小型ポンプ付積載車の寄贈を受ける。
- 8月8日 運輸大臣より消防本部及び敦賀消防団に対し、平成9年1月に発生した「ナホトカ号」重油流出事故にかかる油回収活動への感謝状が授与される。
- 11月19日 三方分署新庁舎落成に伴い通常業務を開始。
- 11月20日 近畿府県合同防災訓練に参加。（京都府精華町）
- 平成10年1月19日 はしご付消防ポンプ自動車（40m級四輪操舵）を敦賀消防署に更新配置。
- 2月4日 災害対応特殊救急自動車（高規格、4WD）を敦賀消防署気比分遣所に配置。
- 3月7日 自治体消防制度50周年記念式典（日本武道館）に参加。
- 3月11日 福井県防災ヘリコプター合同訓練を実施。
- 4月1日 嶺南地区の代表消防本部として自動車電話・携帯電話からの119番通報接続運用を開始。
- 4月23日 救急救命士試験に1名合格。（組合6人目）
- 8月28日 全国消防救助技術大会（大阪市）個人種目に1名出場し、入賞。
- 10月31日 近畿府県合同防災訓練、福井県総合防災訓練、敦賀市防災総合訓練を実施。
- 11月5日 救急救命士試験に1名合格。（組合7人目）
- 12月31日 年間火災件数及び損害額が消防組合発足（昭和45年）以来、最少を記録。
- 平成11年3月10日 救助工作車Ⅲ型を敦賀消防署に新規配置。
- 4月1日 福井県消防学校教育職員に1名を派遣。  
福井県防災航空隊に職員1名を派遣。
- 4月22日 救急救命士試験に1名合格。（組合8人目）
- 5月1日 敦賀美方消防組合隊員章及びロゴマークを制定。
- 6月28日 高規格救急自動車を三方分署に新配置。
- 8月7日 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練に参加。（愛知県）
- 8月19日 全国消防救助技術大会個人の部に1名出場。（横浜市）
- 10月21日 全国婦人消防隊操法大会（横浜市）に出場。（能登野区）
- 11月10日 救急救命士試験に1名合格。（組合9人目）
- 11月11日 近畿府県合同消防訓練に参加。（大阪府）
- 12月31日 「コンピューター2000年問題」特別警戒実施。
- 平成12年4月1日 職員定数を136名に改め、職員6名を増員。  
美浜・三方各分署を消防署に格上げ。
- 4月12日 救急救命士試験に2名合格。（組合11人目）
- 9月15日 敦賀消防署気比分遣所庁舎新築工事安全祈願祭を挙行。

- 平成12年10月9・10日 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練に参加。(石川県加賀市)
- 10月21日 敦賀美方消防組合発足30周年記念式典を挙げる。
- 10月22・23日 全国緊急消防援助隊合同訓練に参加。(東京都)
- 10月23日 救急救命士試験に1名合格。(組合12人目)
- 平成13年3月28日 高規格救急自動車を美浜消防署に新配置。
- 5月1日 敦賀消防署気比分遣所開所式を挙げる。
- 5月15日 救急救命士試験に2名合格。(組合14人目)
- 7月28日 第50回福井県消防操法大会において、敦賀消防団第4分団が小型ポンプ操法の部で優勝。
- 8月8日 全国消防救助技術大会個人の部に1名出場。(東京都)
- 10月30日 緊急消防援助隊中部、近畿ブロック合同訓練に参加。(三重県名張市)
- 11月9日 「県民の消防士」1名受賞。
- 11月29日 救急救命士試験に1名合格。(組合15人目)
- 平成14年1月18日 はしご付消防ポンプ自動車(15m級)を敦賀消防署に更新配置。
- 4月1日 署組織の一部改正。敦賀消防署救急課を廃止し、庶務課を新設。人事給与システム導入。
- 4月19日 救急救命士試験に1名合格。(組合16人目)
- 10月17日 緊急消防援助隊中部ブロック訓練に参加。(富山県高岡市)
- 10月31日 防火対象物等調査検討委員会設置。
- 11月19日 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加。(徳島県阿南市)
- 12月1日 消防防災ネットワークシステム運用開始。
- 12月17日 救急救命士試験に1名合格。(組合17人目)
- 平成15年1月1日 敦賀美方消防組合例規集管理システム運用開始。
- 1月23日 水槽付消防ポンプ自動車を敦賀消防署(水I-B型)及び、美浜消防署(水I-A型)に配置。
- 4月17日 救急救命士試験に2名合格。(組合19人目)
- 9月1日 指揮広報車を敦賀消防署に配置。
- 9月8日 北陸自動車道上り線小河トンネルにおいて総合防災訓練を実施。
- 10月1日 メディカルコントロール体制の整備に伴う救急救命士の包括的指示下における除細動の実施を開始。
- 11月24日 (財)原子力安全研究協会「被ばく汚染傷病者のプレホスピタルケア」研修ビデオ作成に協力。
- 12月22日 災害対応特殊救急自動車を敦賀消防署に更新配置。
- 平成16年1月16日 水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を三方消防署に配置。
- 3月1日 木ノ芽峠トンネル内の消防活動に関する覚書を南越消防組合と締結する。
- 3月13日 第1回福井県市町村消防相互応援協定に基づく消防総合訓練を田結、鞠山区で実施。
- 4月1日 職員定数を141名に改め、職員5名を増員。
- 4月21日 救急救命士試験に1名合格。(組合20人目)
- 7月18日 福井豪雨に伴い福井県市町村消防相互応援協定に基づき、職員(第1次隊 6名・第2次隊 4名・第3次隊 5名)を福井市へ応援派遣。



- 平成16年 7月19日 福井豪雨に伴い福井県食品安全課と鯖江丹生消防本部からの要請により、10t  
 ~27日 水槽車により鯖江市河和田地区への給水活動を実施。
- 10月 1日 敦賀美方消防組合ホームページを開設。
- 10月18日 福井豪雨への応援出場に対し、福井市長から感謝状授与。
- 平成17年 3月 9日 JR敦賀駅第2機関区構内において列車事故災害訓練を実施。
- 3月31日 「三方町」と「上中町」が合併し、「若狭町」が誕生。  
 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を美浜消防署に配置。
- 4月 1日 気比分遣所の勤務体制を三部制とする。  
 水難救助業務を本格的に開始。
- 4月15日 救急救命士試験に1名合格。(組合21人目)
- 6月10・11日 第3回緊急消防援助隊全国合同訓練(静岡県静岡市)に救助隊1隊が参加。
- 7月23日 第54回福井県消防操法大会において、美浜消防団第3分団が小型ポンプ操法の  
 部で3位入賞。
- 11月 4日 美浜町において2年間無火災を記録。
- 12月14日 指揮隊車を敦賀消防署に配置。
- 平成18年 2月14日 災害支援車を敦賀消防署に配置。
- 4月 1日 薬剤投与認定救命士の運用開始。
- 4月13日 救急救命士試験に1名合格。(組合22人目)
- 6月 1日 住宅用火災警報器の設置及び維持を条例化。
- 8月 5日 第55回福井県消防操法大会において、三方消防団第1分団が小型ポンプ操法の  
 部で3位入賞。
- 10月25日 福井県指揮隊及び支援隊として緊急消防援助隊中部ブロック訓練に参加。
- 平成19年 1月 8日 敦賀消防団に「つるが鳶」が結成され出初式において初披露。
- 1月17日 消防副士長の昇任試験制度導入。
- 3月25日 能登半島地震に伴い緊急消防援助隊を石川県へ派遣。
- 4月 1日 消防本部の組織を改編し総務課、消防救急課、予防課、防災指令課、通信指令  
 室4課1室とする。  
 敦賀消防署気比分遣所を気比分署に格上げ。美浜、三方消防署に課制を導入。  
 福井県消防学校へ教官として職員1名を派遣。
- 4月20日 救急救命士試験に1名合格。(組合23人目)
- 10月 1日 耐熱性に優れたセパレート型の新型防火衣を導入。
- 11月13日 全職員を対象とした人事考課試行開始。
- 11月18日 敦賀市において行なわれた福井県原子力防災訓練へ参画。
- 平成20年 1月10日 高機能消防指令センターの運用開始。
- 4月 1日 組織改革により、消防本部に副消防長、敦賀消防署に統括官を配置。  
 通信指令室を消防指令センターに改称。  
 福井県防災航空隊に隊員1名を副隊長として派遣。  
 敦賀FM放送(株)と消防広報について委託契約を締結。  
 緊急地震速報運用開始。(平成27年4月廃止)
- 4月21日 救急救命士試験に1名合格。(組合24人目)
- 7月19日 第57回福井県消防操法大会において美浜消防団第4分団がポンプ車の部で2位入賞。

- 平成20年 8月3日 第46回敦賀地区自衛消防隊操法大会において屋内消火栓の部を創設。
- 9月4日 敦賀消防団「つるが鳶」が敦賀まつりにおいて初演技。
- 11月8日 福井県消防団員意見発表大会において、敦賀消防団第8分団団員が優秀賞受賞。
- 11月10日 三方消防団（岩屋、田上、黒田）組織再編に伴い、小型動力ポンプ付積載車を新配置。
- 11月20日 敦賀市において原子力防災モデル訓練を実施。
- 平成21年 4月1日 7名の新規職員採用により条例定数141名が充足。
- 4月14日 救急救命士試験に1名合格。（組合25人目）
- 5月27日 Em-Net運用開始。
- 6月11日 消防団協力事業所表示制度の導入に伴い、管内の11事業所を認定。（平成22年4月1日現在20事業所）
- 8月10・13日 県内初の高校生等を対象とした応急手当普及員講習を実施。
- 10月17日 福井県において、緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練が実施され指揮隊以下
- ～18日 5隊が参加。
- 11月10日 第11回「県民の消防士」賞を当組合の救急救命士が受賞。
- 11月24日 敦賀消防団第6分団第3部に小型動力ポンプ付積載車を配置。
- 11月26日 美浜消防団第4分団第2部に小型動力ポンプ付積載車を配置。
- 平成22年 1月26日 三方消防署に高規格救急自動車を更新配置。
- 3月8日 敦賀消防署に救助工作車Ⅱ型を配置。
- 4月1日 女性消防団員任用の門戸を開くため、消防団員の任用に関する条例の一部を改正。消防本部に庶務課を創設し、5課体制となる。美浜、三方各消防署に庶務課を創設し、全署3課体制となる。
- 4月8日 敦賀消防署に資機材運搬車（Wキャブ）を配置。（原子力防災資機材）
- 4月16日 救急救命士試験に2名合格。（組合27人目）
- 5月29日 敦賀美方消防組合発足40周年記念式典を挙げる。
- 6月4・5日 第4回緊急消防援助隊全国合同訓練（愛知県知多市）に後方支援隊1隊が参加。
- 6月29日 敦賀消防署に災害対応特殊救急自動車を更新配置。
- 7月8日 原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会が敦賀市で開催される。
- 7月23日 敦賀消防団第6分団第2部に消防団救助資器材搭載型車両を配置。敦賀消防団第9分団第3部に消防ポンプ自動車（CD-I）を配置。
- 9月7日 美浜消防団第4分団第1部に消防ポンプ自動車（CD-I）を更新配置。
- 10月21日 全国消防長会予防委員会が敦賀市で開催される。
- 11月19日 三方消防団（常神、海山、能登野）組織再編に伴い、小型動力ポンプ付積載車を配置。
- 12月22日 敦賀消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を配置。
- 平成23年 3月12日 東北地方太平洋沖地震（3月11日14時46分発生）に伴い、緊急消防援助隊（1次隊
- ～23日 ～4次隊、延べ42名）を岩手県陸前高田市へ派遣。
- 4月1日 敦賀美方消防組合消防団の設置等に関する条例の一部を改正し消防団員の定員を増員し、女性消防団員26名（敦賀10、美浜8、三方8）を初任用する。（敦賀消防団280名、美浜消防団233名、三方消防団233名、合計746名）J-ALERT運用開始。
- 4月12日 救急救命士試験に1名合格。（組合28人目）

- 平成23年 9月21日 台風15号襲来により、敦賀市で初となる住民避難勧告が発令され、敦賀市及び消防職・団員による避難誘導活動を実施。
- 9月29日 敦賀消防署に指令車を更新配置。
- 12月16日 美浜消防署に災害対応特殊救急自動車を更新配置。
- 平成24年 3月 5日 三方消防団第1分団第3部（北前川、南前川、藤井、相田）拠点化計画に伴い、小型動力ポンプ付積載車を南前川に配置。
- 3月12日 敦賀消防団第8分団第1部に消防ポンプ自動車（CD-I）を更新配置。
- 4月 1日 職員定数を156名に改め、職員4名を増員。（職員数145名）
- 4月10日 救急救命士試験に1名合格。（組合29人目）
- 4月21日 敦賀消防署消防訓練センター落成式を挙行。
- 7月25日 敦賀消防団消防鳶隊「つるが鳶」（団長以下15名）が、敦賀市訪口親善使節団派遣事業（姉妹都市締結30周年記念事業）として、ロシア連邦ナホトカ市ではしご乗り演技を披露。
- 8月17日 三方消防署に指令車を更新配置。
- 10月 1日 指揮支援隊の常時（24時間）運用開始。
- 12月17日 美浜消防団第4分団第3部に消防ポンプ自動車（CD-I）を更新配置。
- 平成25年 2月 4日 敦賀消防団第3分団第1部に消防ポンプ自動車（CD-I）を更新配置。
- 2月22日 敦賀消防署気比分署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車を配置。
- 3月 6日 資機材搬送車を敦賀消防署に配置。（総務省消防庁からの無償貸与車両）
- 4月 1日 職員3名を増員。（職員数148名）
- 4月 8日 救急救命士試験に2名合格。（組合31人目）
- 7月20日 第61回福井県消防操法大会において、敦賀消防団第5分団が小型ポンプ操法の部で3位入賞。
- 9月16日 台風18号の記録的大雨により初の特別警報が発表される。
- 12月18日 美浜消防団第3分団第4部に小型動力ポンプ付軽積載車を新配置。
- 平成26年 2月17日 消防庁長官より三方消防団に対し、平成25年台風18号における現場功労への表彰状が授与される。
- 3月18日 敦賀消防団第1分団第2部に消防ポンプ自動車（CD-I）を更新配置。
- 3月19日 美浜消防署に資機材運搬車を更新配置。
- 3月24日 敦賀消防署に可搬型早期警報地震計（Qアラート）を新配置。
- 3月31日 救急救命士試験に4名合格。（組合35人目）
- 9月10日 内閣総理大臣より三方消防団に対し、平成25年台風18号における現場功労への表彰状が授与される。
- 11月 8日 敦賀美方危険物安全協会創立40周年記念式典を挙行。
- 11月17日 敦賀美方消防組合水難救助隊、第16回「県民の消防士」受賞。
- 12月 2日 美浜消防団第2分団第6部に小型動力ポンプ付軽積載車を新配置。
- 12月11日 敦賀消防団第2分団に消防ポンプ自動車（CD-I）を更新配置。
- 12月12日 敦賀消防署に敦賀査察1号車を新配置。（公財）日本消防協会交付車両）
- 12月16日 敦賀消防署気比分署に災害対応特殊救急自動車を更新配置。
- 平成27年 3月16日 敦賀消防署に災害弱者搬送車両（マイクロバス）を配置。（原子力防災資機材）
- 3月25日 消防救急デジタル無線運用開始。
- 3月30日 敦賀消防署に災害弱者搬送車両（ハイエース）を配置。（原子力防災資機材）
- 3月31日 救急救命士試験に2名合格。（組合37人目）
- 4月 1日 職員1名を増員。（職員数153名）
- 4月 1日 職員1名を再任用。

- 平成27年12月1日 三方消防署に三方1号車を更新配置。
- 12月15日 美浜消防団第2分団第7部に小型動力ポンプ付軽積載車を新配置。
- 12月16日 美浜消防団第3分団第5部に救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車を配置。  
(総務省消防庁無償貸付車両)
- 12月18日 美浜消防署に美浜指令2号車を配置。((公財)日本消防協会交付車両)
- 平成28年3月31日 救急救命士試験に1名合格。(組合38人目)
- 4月1日 敦賀美方消防組合消防団の組織に関する規則を改正し、敦賀消防団の分団名称  
(数字から地区名へ)、分団定数及び分団の管轄区域を変更する。
- 11月1日 敦賀消防署に高度救助資機材(画像探索機Ⅱ型、熱画像直視装置、地中音響探  
知機)を新配置。
- 11月10日 敦賀消防団東浦分団第1部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を新配置。
- 11月10日 三方消防団第2分団第1部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を新配置。
- 11月22日 「県民の消防士」1名受賞。
- 11月30日 美浜消防団第2分団第5部に小型動力ポンプ付積載車を新配置。
- 12月1日 敦賀水槽車積載の小型動力ポンプを更新。
- 平成29年3月16日 高機能消防指令システム更新業務委託完了、運用開始。
- 3月31日 救急救命士試験に2名合格。(組合40人目)
- 4月1日 敦賀消防団機能別班(機能別団員)の設置に伴い、消防団員の条例定数を761人に改める。
- 6月1日 敦賀消防団に敦賀市立看護大学生による機能別班を設置。
- 7月22日 第66回福井県消防操法大会に美浜消防団女性活動班が出場。
- 9月26日 三方消防団本部分団に救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を新配置。  
(総務省消防庁無償貸与車両)
- 10月1日 第23回全国女性消防操法大会に敦賀市女性消防隊が出場。
- 11月28日 敦賀消防団中郷分団第1部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を新配置。  
三方消防団第3分団第1部(第1班)に消防ポンプ自動車(CD-I型)を新配置。
- 11月29日 美浜消防署に指令車を更新配置。
- 平成30年1月26日 美浜消防団第3分団第1部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を新配置。
- 1月29日 敦賀消防署に災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-I型(CAFS車両)を新配置。
- 2月28日 敦賀消防署に災害対応特殊救急自動車を新配置。
- 3月30日 救急救命士試験に1名合格。(組合41人目)
- 7月21日 第67回福井県消防操法大会において、三方消防団第2分団第2部が小型ポンプ操  
法の部で2位入賞。
- 9月6日 大規模工場火災に伴い、福井県広域消防相互応援協定に基づく特別応援を要請。
- 9月28日 三方消防団第2分団第2部第2班に小型動力ポンプ付軽積載車(デッキバンタイプ)  
を新配置。
- 9月29日 嶺南地域における京滋ドクターヘリの共同運航開始。
- 12月20日 総務大臣から敦賀消防団機能別班が感謝状を受賞。
- 平成31年1月25日 美浜消防団第4分団第5部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を新配置。
- 2月28日 敦賀消防団気比分団第1部に多目的搬送車を新配置。
- 2月28日 敦賀消防団西浦分団第1部に小型動力ポンプ付積載車を更新配置。
- 3月30日 救急救命士試験に2名合格。(組合43人目)
- 令和元年7月20日 第68回福井県消防操法大会において、敦賀消防団中郷分団が小型ポンプ操法の部で3位入賞。
- 8月30日 消防職員用防火服を更新。
- 9月29日 敦賀消防団東浦分団第3部に小型動力ポンプ付軽積載車を更新配置。

- 令和元年11月28日 気比分署に消防指令車を更新配置。
- 12月2日 美浜消防団第2分団第1部に消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配置。
- 12月15日 敦賀消防団愛発分団第2部に小型動力ポンプ付積載車を更新配置。
- 令和2年3月31日 救急救命士試験に1名合格。（組合44人目）
- 4月1日 敦賀美方消防組合初の女性消防吏員を採用。
- 5月31日 令和2年度敦賀美方消防組合消防大会（組合消防50周年記念大会）を新型コロナウイルス感染症の影響から中止。
- 10月1日 Net119緊急通報システム運用開始。
- 11月25日 「県民の消防士」1名受賞。
- 11月27日 三方消防団第2分団第2部第3班に小型動力ポンプ付積載車を更新配置。
- 12月10日 災害対応特殊救急自動車を更新配置。
- 12月18日 美浜消防団第1分団第1部に消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配置。
- 令和3年1月27日 敦賀消防団東浦分団第2部に小型動力ポンプ付積載車を更新配置。
- 3月5日 気比分署に資機材運搬車を更新配置。
- 3月12日 敦賀消防団粟野分団第1部に消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配置。
- 3月31日 救急救命士試験に1名合格。（組合45人目）
- 5月27日 「令和2年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文（機器の部）」において最優秀賞受賞。
- 10月15日 敦賀広報1号車（原子力協定資機材）を更新配置。
- 11月26日 敦賀消防団松原分団第1部の新器具置場完成。
- 12月1日 消防本部及び敦賀消防署の新庁舎が完成し運用を開始。
- 令和4年1月17日 三方指令2号車（日本消防協会交付車両）を更新配置。
- 3月2日 消防庁長官から、敦賀消防団機能別班が消防団等地域活動表彰を受賞。
- 3月4日 敦賀消防団粟野分団第2部に多目的搬送車を更新配置。
- 3月31日 救急救命士試験に1名合格。（組合46人目）
- 4月1日 美浜町に33年ぶりに新たな行政区として「美し野」区が設立され、同区に美浜消防団第2分団第9部を新設。
- 4月18日 令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意功労者賞に2名受賞。
- 6月1日 多言語電話通訳サービス運用開始。
- 令和5年1月19日 三方消防団第2分団第1部第4班に小型動力ポンプ付き積載車を更新配置。
- 3月20日 敦賀消防団松原分団第3部に小型動力ポンプ付き軽積載車を更新配置。
- 3月20日 敦賀消防団西浦分団第3部に小型動力ポンプ付き軽積載車を新配置。
- 3月22日 敦賀消防署に40m級梯子車を更新配置。
- 3月31日 救急救命士試験に1名合格。（組合47人目）
- 4月1日 組合章（えり章）を作成し、着用を開始。
- 7月22日 第72回福井県消防操法大会において、美浜消防団第2分団が小型ポンプ操法の部で優勝。